

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「良い」超幅が縮小した。
—— 製造業は、「良い」超幅が小幅縮小した。非製造業は、「良い」超幅が縮小した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	木材・木製品、紙・パルプ、 金属製品	自社製品への引き合いの強まり 省エネ製品の販売が好調
	悪化	輸送用機械、食料品、化学、繊維	原材料価格上昇による利幅縮小 海外需要の鈍化
非製造業	改善	鉱業・採石業・砂利採取業、 電気・ガス、小売	自然災害による復興需要の増加 自動車販売が好調
	悪化	不動産、宿泊・飲食サービス、 情報通信、建設	仕入価格上昇による利幅縮小 公共工事受注の減少 需要の一服

- **先行き**については、「良い」超幅が縮小する見通しである。
—— 製造業は、「良い」超幅が縮小する見通し。非製造業は、「悪い」超に転化する見通し。

(事業計画)

- 2018年度の**売上高**は、前年を上回る計画、**経常利益**は、前年を下回る計画である。前回調査対比では、売上高は上方修正となった一方、経常利益は下方修正となった。

—— 経常利益は、製造業で、通商政策を巡る世界的な不透明感の高まりや、スマホ関連需要の低迷などから、減益計画となっている。非製造業は、仕入価格上昇による利幅縮小などから、減益計画となっている。

—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、値上げによる販売減少や新製品投入の遅れなどから、下方修正となった。非製造業では、新規出店や店舗改装の効果などから、上方修正となった。

- 2018年度の**設備投資**は、前年を上回る計画である。前回調査対比では、上方修正となった。
 - 製造業は、受注好調に伴う能増投資や大規模な効率化投資などから、前年を上回る計画である。非製造業は、需要増加に対応するための各種施設の建設などから、前年を上回る計画である。
 - 前回調査対比で見ると、製造業では、投資計画の拡大などから、上方修正となった。非製造業では、投資案件の翌年度への持ち越しなどから、下方修正となった。

(その他の判断項目)

- **販売価格判断D. I.**は、「上昇」超幅が縮小した。**仕入価格判断D. I.**は、「上昇」超幅が小幅拡大した。
- **雇用人員判断D. I.**は、「不足」超幅が拡大した。
- **資金繰り判断D. I.**は、「楽である」超幅が小幅縮小した。**貸出態度判断D. I.**は、「緩い」超幅が小幅拡大した。**借入金利水準判断D. I.**は、前回調査並みの「低下」超となった。

以 上